

# 上田由美子市議の一般質問 学校以外の居場所紹介も 6月議会

【上田市議】不登校の児童・生徒や保護者に、フリースクールなどの民間施設を紹介したか。

【教育委員会事務局長】フリースクールは、不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などをしている民間施設とされている。昨年度から今まで、相談者へ紹介したのは4件、小矢部市の「大空へ飛べ」や砺波市の「みやの森カフェ」を紹介している。

【上田市議】不登校は問題行動ではなく、誰にでも起こることである。「教育機会確保法」(2016年制定)第13条で、「学校以外の場での学びが重要」、「不登校児童生徒の休養の必要性」を踏まえ、状況に応じた学習活動が行われるよう、必要な支援を行うとしている。文科省の通知(19年)では、「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的にとらえて、社会的に自立することを目指す必要があるとしている。

保護者のなかには、学校以外の居場所を知らない人がいる。情報提供が必要だ。

## 楽しく豊かな放課後を

### 放課後児童クラブ支援員の研修、勤務条件の改善求める

【民生部長】各放課後児童クラブの責任者を中心に、受け入れ開始前に、前日の出来事の情報共有、当日の運営体制の打合せをしている。日々支援員が代わっても、保護者に不安を与えない体制作りを努めている。

【上田市議】1週間の勤務日数が少ないのは、募集しても人が集まらないからでないか。1日4時間勤務のため、他にパートの仕事を持ち、ダブルワークの人もいる。児童が学校での緊張を解きほぐし、友達と関わって楽しく豊かな放課後を過ごせるように、支援員の研修や勤務条件の改善、正職員化を求めたい。

【上田市議】ひとつのクラブで定数を超える支援員が入れ替わり働いている。子どもが支援員になじむのに時間がかかり、支援員も一人ひとりの特徴や個性をつかむのに時間がかかる。保護者も迎えに行くたびに支援員が違うのでは、子どもに関する要望を伝えることに不安を感じるのではないか。

【上田市議】1週間の勤務日数が少ないのは、募集しても人が集まらないからでないか。1日4時間勤務のため、他にパートの仕事を持ち、ダブルワークの人もいる。児童が学校での緊張を解きほぐし、友達と関わって楽しく豊かな放課後を過ごせるように、支援員の研修や勤務条件の改善、正職員化を求めたい。

## 物価高騰対策

5月臨時議会

補正予算 1億6千万円

小矢部市5月臨時議会が22日、23日に開かれ、物価高騰対策として補正予算(案)が審議され、14事業の実施が決まりました。

次の2点は、5月8日に日本共産党小矢部市委員会が市長に申し入れた要望が実現したものです。

### 学校給食費増額分助成

小矢部市は、学校給食費を2023年4月から値上げしましたが、保護者の負担を軽減するため、その増額分を助成します(750万円)。しかし、この助成は23年度のみであるため、来年度以降引き続き助成する仕組みを作る必要があります。

### 農業者に支援金決定

市内農業者に対し、市独自に農作物の作付面積(二毛作含む)10a当り200円の支援金を支給します。(700万円)



2千年の眠りから覚めた古代蓮

## 県に予算要望 日本共産党



要望する上田市議  
=5月17日、県議会会議室

日本共産党富山県地方議員団は5月17、18日、富山県へ2024年度予算編成に対する要望を行いました。上田由美子市議も参加し、要望実現を働きかけました。

### 国保税子ども均等割廃止を

【共産党】国民健康保険税に均等割を廃止しようとするについて、国の動きにあわせ、小矢部市が18歳までの子どもは752万円、未就学児では

### 带状疱疹ワクチン接種に助成を

【共産党】带状疱疹ワクチン接種費用に助成をすること。任意接種であり、個人の判断により個人の負担で受けていた

東京都では2023年度から接種費の個人負担軽減のため、带状疱疹ワクチンの接種費を助成する区市町村への補助事業を実施しました。補助額は、生ワクチンの場合は5千円/回(1回のみ)、不活化ワクチンは1万円/回(2回ま

### 金屋本江地内の県道拡幅

【共産党】県道砺波小矢部線の拡幅を、国の交付金を活用して、いっそう強力に促進すること。特に危険個所の多い金屋本江地内を促進すること。

岡線との交差点改良に取り組んでいる。残る西中から金屋本江までの区間については、実施中の事業の進捗状況や周辺の交通量の推移、地域開発の動向を踏まえながら、実施について検討していく。